

(二条城の価値を活かし未来を創造する会 第2回会議資料)

## 第1回会議意見

### 1 MICEをはじめとする積極的な活用促進策

- ①全国・海外に対する二条城 MICE プランのプロモーション活動  
【草刈】【田中】
- ②二条城を活かし、保存するための原資の確保、収益の向上【赤星】
- ③利用者ニーズに合致したメニューの多様化及び必要な付帯施設の整備  
【赤星】【草刈】【田中】  
(施設活用上の規制の大胆な緩和 等)
- ④京都市の迎賓館としての機能強化【黒田】

### 2 学びの場、観光資源としての機能向上、情報発信によるビジター増加策

- ①歴史学習の場としての活用【黒田】  
(市内小中学生の二条城探検会開催、大学新生・市内転入者の無料招待)
- ②歴史的出来事の再現【濱崎】【アトキンソン】【大島】【寺井】  
(寛永時代の行幸行列、徳川和子の入内(1620年)、大政奉還 等)
- ③募金の工夫【濱崎】  
(いつまでにここまで修復するという具体的な目標をCGで再現したものを  
見せて、目に見える形で協力を募るべき)
- ④天守台からの京都の情景の撮影と発信【吉田】

### 3 来城者の満足度を高める方策

- ①外国語による歴史の説明【孫】  
(なぜここが歴史的な場所なのか説明できるように)
- ②看板による説明の充実【濱崎】  
(関心のある人の興味にどう応えられるか)
- ③二の丸御殿の窓の一部開放【濱崎】  
(当時の人々が見た景色がどうだったかイメージできるように)
- ④本物の障壁画を少しでも良いので、嵌められないか【濱崎】
- ⑤城内スタッフの服装のデザインの統一【濱崎】
- ⑥歴史を理解する観光の推進【向井】
- ⑦二条城 Post の発行【吉田】  
(絵葉書の発行)
- ⑧スタッフのおもてなしコンセプトの統一、人的なガイドの整備【草刈】

#### **4 伝統ある文化・芸能・産業や文化・観光施設等との多彩な連携促進策**

- ①周辺スポットの紹介【吉田】  
(二条陣屋等)
- ②東の岡崎，西の二条城という形で文化・歴史ゾーンを形成【黒田】  
(東のみやこめっせで伝統文化を，西の二条城で歴史を学ぶ)
- ③二条城と岡崎を「線」，「面」として繋ぐ取組【大島】  
(道中のスポットをベロタクシーで繋ぐ)
- ④京都の伝統産業と連携したお土産商品，ノベルティグッズの開発と販売【田中】
- ⑤伝統芸能・現代芸術の舞台としての活用【田中】  
(薪能，創作歌舞伎，オペラ，音楽コンサート 等)

#### **5 二条城を核とする周辺地域の活性化策**

- ①近隣の商店街や施設，市民活動との「攻め」の地域連携【大島】【西村】  
(夏祭り，納涼会，文化事業，京の七夕 等)

#### **6 多様な活用のための基盤整備**

- ①東側駐車場のバス・タクシー・身障者マイカー専用化【黒田】  
(パークアンドライドで御池駐車場から地下鉄と入城券をセットにしたチケットの販売)
- ②収容力のあるホール(名称：新大広間)の建設【黒田】  
(パーティや歴史文化講座の会場として利用)

#### **7 その他**

- ①市民が支える「生きた文化遺産」としての活用【寺井】  
(お茶会，ウエディング，行け花などによる市民との接点)
- ②市民に開かれた二条城【吉田】【大島】  
(ラジオ体操など市民向けイベント，市民活動の場)
- ③リピーターの会員化【赤星】
- ④文化財行政に対する所有者 京都市のプッシュによる観光と保存の両立【アトキンソン】  
(日光東照宮は，史跡に新宝物館を建てた)
- ⑤この会に一度は文化財保護の観点で意見を述べてくれる方を呼びたい【アトキンソン】
- ⑥ニーズに合わせた価格の多様性【アトキンソン】【赤星】  
(収入も増え，修理が進むという好循環)